

【記載例】

個人の場合

(様式第1-1号 甲号)

農地法第3条の規定による許可申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

南北町 農業委員会会長 様

譲受人等 住所 (又は主たる事務所の所在地)

南北郡南北町大字南北120

(連絡先: 電話番号 082-×××-××××)

職業 農業 年齢 45歳

国籍等 日本 在留資格又は特別永住者 ー

氏名 (又は名称及び代表者名)

〇 〇 〇 〇

譲渡人等 住所 (又は主たる事務所の所在地)

南北郡南北町大字北東326

(連絡先: 電話番号 082-×××-××××)

職業 農業 年齢 75歳

氏名 (又は名称及び代表者名)

北東 三郎

次の農地 (採草放牧地) の (に) 「 所有権 」 を 「 移 転 」 したいので、農地法第3条第1項及び同法施行令第1条の規定により許可を申請します。

1 許可を受けようとする土地の状況等

南北郡南北町

土地の所在	地番	地目		面積 (㎡)	所有者氏名 (名 称)	耕作者		備考
		登記簿	現況			氏名 (名称)	利用権原	
大字北東字北東	1206	田	田	1,000	北東三郎	北東三郎	所有権	
大字北東字北東	1207	田	田	850	北東三郎	北東三郎	所有権	
大字北東字北東	1208	田	畑	240	北東三郎	北東三郎	所有権	
以下 余 白								
計 2,090㎡ (田 2 筆 1,850㎡、畑 1 筆 240㎡、採草放牧地 一筆 ー㎡)								

2 土地の引渡し時期 〇〇年〇〇月〇〇日

個人の場合

(様式第1-1号 乙号)

- 3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細
 譲渡人 高齢で耕作困難となり、農業後継者もないことから譲渡することとした。
 譲受人 以前から規模拡大をしたいと考えており、居住地から近いので購入した。

- 4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容（権利の内容欄は、該当箇所には○をすること。）

申請に係る権利の内容	所有権移転 賃借権設定 使用貸借による権利の設定 その他 ()		
権利の設定又は移転の時期	〇〇年〇〇月〇〇日		永久
売買価格又は賃借料	2,000,000円		

- 5 権利を設定し、移転しようとする当事者及びその世帯員が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

当事者の耕作等の状況	譲受人等							譲渡人等			
	所有地			所有地以外の土地			経営地	自作地	借入地	貸付地	非耕作地
	自作地	貸付地	非耕作地	借入地	貸付地	非耕作地	①+④				
地目区分	① (㎡)	② (㎡)	③ (㎡)	④ (㎡)	⑤ (㎡)	⑥ (㎡)	⑦ (㎡)	⑧ (㎡)	⑨ (㎡)	⑩ (㎡)	
田	15,000	—	—	25,000			40,000	3,000		500	0
畑	4,000			3,000			7,000	500			0
樹園地											
計	19,000			28,000			47,000	3,500		500	0
採草放牧地											

非耕作地

土地の所在	地番	所有・借入の別	地目		面積(㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
		所有地				
		借入地				

- 6 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地	採草放牧地	必要な農作業期間
作付(予定)作物	稲	ねぎ	大根	白菜			3月~12月
権利取得後面積	41,850 ㎡	2,000 ㎡	2,000 ㎡	3,240 ㎡	㎡		

- 7 権利を取得しようとする者又はその世帯員(構成員)の農業従事者の状況及び雇用労働力に対する依存の状況(法人にあっては、その法人の農業経営に係る労働力の状況)

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	職業	農業経験	農業従事日数	備考
本人世帯員(構成員)	南北 二郎	45	本人	農業	農業歴20年	300 日	
	花子	42	妻	会社員	農業技術就学歴2年	100 日	
	彩花	17	子	学生		20 日	
	優佑	15	子	学生		20 日	
	太郎	72	父	農業	農業歴50年	200 日	
常雇							
農業委託 季節雇 臨時雇	年間延べ 50人						
農業に従事する者の住所地・拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間						自宅から徒歩5分	

個人の場合

8 権利を所得しようとする者及びその世帯員の農機具並びに家畜の保有状況

種類	大農機具						家 畜		
	トラクター	耕うん機	田植機	乾燥機	コンバイン		草刈機		
確保済み数量	(1)	2	1	1	1		1		
導入予定数量									

導入のための資金繰り：

9 信託契約の内容（法第3条第2項第3号関係）

信託の引受けによる権利の取得： 有

無

10 転貸が認められる場合への該当の有無（法第3条第2項第5号関係）

転貸による権利の取得： 有

無

11 周辺地域との関係（法第3条第2項第6号関係）

権利を取得しようとする者又はその世帯員等がその取得後において行う耕作又は養畜の事業の内容並びにその農地又は採草放牧地の位置及び規模からみて、周辺の地域における農地又は採草放牧地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に及ぼす影響

周辺の経営体の農地の集積の取り組みへの影響はありません。また、農薬については、防除基準に従って行います。

12 その他参考となるべき事項

この申請に関する照会に応答する者の連絡先の住所、氏名及び電話番号

住 所	〒***-*** 南北郡南北町大字南北1 2 0	氏 名	南北 二郎
電話番号	082-×××-××××	(自宅) 勤務先(名称)	

(注) 1 「自宅 勤務先」は、いずれかに○をすること。

2 照会に応答する者が法人の場合、「氏名」に担当者名を、「名称」に法人の名称を記載すること。

【記載例】

農地所有適格法人の場合

(様式第1-1号 甲号)

農地法第3条の規定による許可申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

南北町 農業委員会会長 様

譲受人等 住所 (又は主たる事務所の所在地)
南北郡南北町大字南北120
(連絡先: 電話番号 082-XXXX-XXXX)
職業 年齢 歳
国籍等 日本 在留資格又は特別永住者 ー
氏名 (又は名称及び代表者名)
株式会社 XX
代表取締役 県庁太郎

譲渡人等 住所 (又は主たる事務所の所在地)
南北郡南北町大字北東326
(連絡先: 電話番号 082-XXXX-XXXX)
職業 農業 年齢 75歳
氏名 (又は名称及び代表者名)
北東 三郎

次の農地 (採草放牧地) の (に) 「 所有権 」を「 移転 」したいので、農地法第3条第1項及び同法施行令第1条の規定により許可を申請します。

1 許可を受けようとする土地の状況等

南北郡南北町

土地の所在	地番	地目		面積 (m ²)	所有者氏名 (名称)	耕作者		備考
		登記簿	現況			氏名 (名称)	利用権原	
大字北東字北東	1206	田	田	1,000	北東三郎	北東三郎	所有権	
大字北東字北東	1207	田	田	1,000	北東三郎	北東三郎	所有権	
大字北東字北東	1208	田	畑	500	北東三郎	北東三郎	所有権	
以下余白								
計 2,500m ² (田 2筆 2,000m ² 、畑 1筆 500m ² 、採草放牧地 一筆 ーm ²)								

2 土地の引渡しの時期 〇〇年〇〇月〇〇日

農地所有適格法人の場合

(様式第1-1号 乙号)

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人 高齢で耕作困難となり、農業後継者もないことから譲渡することとした。
 譲受人 以前から規模拡大をしたいと考えており、事務所から近いので購入したい。

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容（権利の内容欄は、該当箇所には○をすること。）

申請に係る権利の内容	所有権移転	賃借権設定	使用貸借による権利の設定	その他（ ）
権利の設定又は移転の時期	〇〇年〇〇月〇〇日	権利の存続期間	永久	
売買価格又は賃借料	2,000,000円			

5 権利を設定し、移転しようとする当事者及びその世帯員が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

当事者の耕作等の状況	譲受人等							譲渡人等			
	所有地			所有地以外の土地			経営地 ①+④ (㎡)	自作地 ⑦ (㎡)	借入地 ⑧ (㎡)	貸付地 ⑨ (㎡)	非耕作地 ⑩ (㎡)
	自作地 ① (㎡)	貸付地 ② (㎡)	非耕作地 ③ (㎡)	借入地 ④ (㎡)	貸付地 ⑤ (㎡)	非耕作地 ⑥ (㎡)					
田	15,000	—	—	25,000			40,000	3,000		500	0
畑	4,000			3,000			7,000	500			0
樹園地											
計	19,000			28,000			47,000	3,500		500	0
採草放牧地											

非耕作地

土地の所在	地番	所有・借入 の別	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
		所有地				
		借入地				

6 作付（予定）作物、作物別の作付面積

	田	畑				樹園地	採草放牧地	必要な農作業期間
作付(予定)作物	稲	ねぎ	ブロッコリー	ほうれん草				3月～12月
権利取得後面積	19,000 ㎡	200,000 ㎡	200,000 ㎡	54,500 ㎡				

7 権利を取得しようとする者又はその世帯員（構成員）の農業従事の状況及び雇用労働力に対する依存の状況（法人にあつては、その法人の農業経営に係る労働力の状況）

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	職業	農業経験	農作業従事日数	備考
本人 世帯員 (構成員)	県庁 太郎	45	代表取締役	農業	農作業歴20年	300 日	
	広島 三郎	42	取締役	農業	農作業歴20年	150 日	
	基町 一郎	41	取締役	農業	農作業歴10年	150 日	
	大手町 花子	41	株主	農業	農作業歴11年	60 日	
	北東 三郎	75	株主	農業	農作業歴45年	70 日	
	川西 花代	76	株主	農業	農作業歴50年		
	畑 耕作	80	株主	農業	農作業歴60年		
常雇							
農作業委託 季節雇 臨時雇	年間延べ 200 人						
農作業に従事する者の住所地・拠点となる場所等から 権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間					事務所から自動車で10分		

農地所有適格法人の場合

8 権利を所得しようとする者及びその世帯員の農機具並びに家畜の保有状況

種類	大農機具							家 畜		
	トラクター	耕うん機	田植機	乾燥機	コンバイン	軽トラック	草刈機			
確保済み数量	2	2	1	1	1	2	5			
導入予定数量										

導入のための資金繰り：

9 信託契約の内容（法第3条第2項第3号関係）

信託の引受けによる権利の取得： 有 無

10 転貸が認められる場合への該当の有無（法第3条第2項第5号関係）

転貸による権利の取得： 有 無

11 周辺地域との関係（法第3条第2項第6号関係）

権利を取得しようとする者又はその世帯員等がその取得後において行う耕作又は養畜の事業の内容並びにその農地又は採草放牧地の位置及び規模からみて、周辺の地域における農地又は採草放牧地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に及ぼす影響

所有権移転を受ける農地はこれまでも耕作されており、所有権移転後も現状のまま利用するため、周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に影響を及ぼすことはないと考えます。
また、農薬の使用方法については、地域の防除基準に従います。

12 その他参考となるべき事項

この申請に関する照会に回答する者の連絡先の住所、氏名及び電話番号

住 所	〒***-**** 南北郡南北町大字南北120	氏 名	県庁太郎
電話番号	(▲▲▲▲) ▲▲ -▲▲▲▲	自宅 勤務先(名称)	

(注) 1 「自宅 勤務先」は、いずれかに○をすること。

2 照会に回答する者が法人の場合、「氏名」に担当者名を、「名称」に法人の名称を記載すること。

【記載例】

農地所有適格法人以外の法人

(様式第1-1号 甲号)

農地法第3条の規定による許可申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

南北町 農業委員会会長 様

譲受人等 住所 (又は主たる事務所の所在地)

職業 年齢 歳

広島市中区基町10-52

国籍等 在留資格又は特別永住者

(連絡先: 電話番号 082-×××-××××)

氏名 (又は名称及び代表者名)

株式会社カコメ

代表取締役 乙野 甲平

譲渡人等 住所 (又は主たる事務所の所在地)

南北郡南北町大字北東326

職業 農業 年齢 75歳

(連絡先: 電話番号 082-×××-××××)

氏名 (又は名称及び代表者名)

北東 三郎

次の農地 (採草放牧地) の (に) 「 賃借権 」 を 「 設定 」 したいので、農地法第3条第1項及び同法施行令第1条の規定により許可を申請します。

1 許可を受けようとする土地の状況等

南北郡南北町

土地の所在	地番	地目		面積 (㎡)	所有者氏名 (名称)	耕作者		備考
		登記簿	現況			氏名 (名称)	利用権原	
大字北東字北東	1206	田	田	4,000	北東三郎	北東三郎	所有権	
大字北東字北東	1207	田	田	4,000	北東三郎	北東三郎	所有権	
大字北東字北東	1208	田	田	5,000	北東三郎	北東三郎	所有権	
以下余白								
計	13,000㎡ (田 3筆 13,000㎡、畑 一筆 一㎡、採草放牧地 一筆 一㎡)							

2 土地の引渡しの時期

〇〇年〇〇月〇〇日

農地所有適格法人以外の法人の場合

(様式第1-1号 乙号)

- 3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細
 譲渡人 高齢で耕作困難となり、農業後継者もないことから耕作を希望する法人に貸し出すことにした。
 譲受人 以前から規模拡大をしたいと考えており、南北営業所から近いので借り受けたい。

- 4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容（権利の内容欄は、該当箇所に○をすること。）

申請に係る権利の内容	所有権移転 <input checked="" type="radio"/> 賃借権設定 <input checked="" type="radio"/> 使用貸借による権利の設定 <input type="radio"/> その他 () <input type="radio"/>
権利の設定又は移転の時期	〇〇年〇〇月〇〇日 権利の存続期間 10年
売買価格又は賃借料	年額 10,000円(10aあたり)

- 5 権利を設定し、移転しようとする当事者及びその世帯員が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

当事者の耕作等の状況	譲受人等						譲渡人等			
	所有地			所有地以外の土地			自作地	借入地	貸付地	非耕作地
	自作地	貸付地	非耕作地	借入地	貸付地	非耕作地				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
地目区分	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)
田				25,000		0	13,000			
畑				3,000		0	2,000			
樹園地										
計				28,000		0	15,000			
採草放牧地										
非耕作地										

土地の所在	地番	所有・借入の別	地目		面積(㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
		所有地				
		借入地				

- 6 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑		樹園地	採草放牧地	必要な農作業期間
作付(予定)作物	稲	ねぎ				
権利取得後面積	38,000 ㎡	3,000 ㎡	㎡	㎡	㎡	3月~10月

- 7 権利を取得しようとする者又はその世帯員(構成員)の農業従事者の状況及び雇用労働力に対する依存の状況(法人にあっては、その法人の農業経営に係る労働力の状況)

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	職業	農作業経験	農作業従事日数	備考
本人 世帯員 (構成員)	乙野 甲平	50	代表取締役	会社員			
	甲野 太郎	45	取締役	会社員	農作業歴5年	200 日	
	乙野 正子	47	取締役	会社員	農作業歴6年	200 日	
常 雇	畑 咲子	35	社員	会社員	農業技術検定1級	220	
	芝 育夫	40	社員	会社員		220	
農作業委託 季節雇 臨時雇	年間延べ 5 人						
農作業に従事する者の住所地・拠点となる場所等から 権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間					事務所から自動車です10分		

農地所有適格法人以外の法人の場合

8 権利を所得しようとする者及びその世帯員の農機具並びに家畜の保有状況

種類	大農機具							家 畜		
	トラクター	耕うん機	田植機	乾燥機	コンバイン	軽トラック	草刈機			
確保済み数量	(1)	1	1		1	1	1			
導入予定数量										
導入のための資金繰り：										

9 信託契約の内容（法第3条第2項第3号関係）

信託の引受けによる権利の取得： 有 、 無

10 転貸が認められる場合への該当の有無（法第3条第2項第6号関係）

転貸による権利の取得： 有 、 無

11 周辺地域との関係（法第3条第2項第7号関係）

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響

賃借権設定を受ける農地はこれまでも耕作されており、許可後も現状のまま利用するため、周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に影響を及ぼすことはないと考えます。また、農薬の使用方法については、地域の防除基準に従います。

12 その他参考となるべき事項

この申請に関する照会に応答する者の連絡先の住所、氏名及び電話番号

住 所	〒***-**** 広島市中区基町10-52	氏 名	乙野 正子
電話番号	(▲▲▲▲) ▲▲ -▲▲▲▲	自宅 (勤務先 (名称 株式会社 カコメ)	

(注) 1 「自宅 勤務先」は、いずれかに○をすること。

2 照会に応答する者が法人の場合、「氏名」に担当者名を、「名称」に法人の名称を記載すること。